

東海大学医学部附属大磯病院では、
受診時に患者さんから得られた診療情報を使用して
下記の臨床研究を行っています。

下記臨床研究は「東海大学医学部 臨床研究審査委員会」にて病院長の承認を得て実施しています。
当該診療情報の使用については、研究計画書に従って匿名化处理が行われており、研究対象者の氏名や住所
等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。

本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡ください。また、本研究の
成果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。

本研究の研究対象者に該当すると思われる方又はその代理人の方の中で診療情報が使用されることについ
てご了承頂けない場合は担当者にご連絡ください。なお、その申出は研究成果の公表前までの受付となりま
すのでご了承願います。

【研究課題名】

「日本人の維持透析中新型コロナウイルス感染症(COVID-19)患者に対するレムデシビルに
よる治療」に関する研究

【研究の目的】

過去の診療情報をさかのぼって観察し、当院で新型コロナウイルス感染症の治療を行った維
持透析患者さんの治療成績を明らかにすることを目的としています。

【研究の対象となる方】

2021年3月1日 から 2021年9月15日 までの間に、当院の腎糖尿病内科で新型
コロナウイルス感染症の治療を受けられた維持透析患者さんです。

【利用期間（研究実施期間）】

臨床研究審査委員会承認日 から 2021年11月30日 まで

【研究に用いる診療情報等の項目】

・診療情報：年代、性別、身体所見、検査結果（血液検査、レントゲン、胸部CT）など

【利益相反に関する事項】

この研究は、特定企業等からの資金提供はないため利益相反はありません。

【問い合わせ先】

東海大学医学部附属大磯病院 （電話：代表 0463-72-3211 内線：5078）

研究責任者 腎糖尿病内科 血液浄化センター 伊藤 純

問い合わせ担当者 腎糖尿病内科 血液浄化センター 伊藤 純